図書館★NEWS

4月の特集　学園小説！

【　４月の開館スケジュール　】
通常開館　（平日）9:30～18:30（土）9:30～14:30
4/1-4･･･春休み休館　4/6,7,9…14:30 閉館,

早稲田大阪学園
図書館発行　No.44
2017.4.10

お知らせ

『読書ツーリング』
大阪環状線　編(全 17 駅)
スタートします！

「読書ツーリング」とは･･･読書のスタンプラリー
旅行気分で読書を楽しめます。

**「大阪」から「福島」まで 17 駅の「大阪環状線編」が
4 つ目のコースとして加わりました。
参加用紙は、図書館カウンターにあります。**

読み終わった本の数だけスタンプを押します。
終点到着で「**プレミアム･リクエスト券**」が進呈されます。

☆「プレミアム･リクエスト券」は魅力的☆
自分が希望する本を購入してもらえる！
一番に借りられる！

昨年度は 36 人が達成しました！
☆気軽に参加してみてください☆

雑誌のリクエスト受付中！

購入枠：年間２万円
リクエストは、一人１回可能。
（連続して同じ雑誌を買うことはできません。）
皆さんの様々な関心にお応えします。

カウンターの司書に言うか、図書館 POST に投書で
ご希望をお寄せ下さい。

■定期購読雑誌･新聞の紹介■

雑誌

Newsweek 日本版　（世界と同じ報道）
NATIONAL GEOGRAPHIC　（レアな地理･歴史）
日経サイエンス　（総合科学）
蛍雪時代、蛍雪時代臨時増刊号
SCREEN　（映画）
アニメージュ（アニメ雑誌）
ダ･ヴィンチ（本とコミックの情報）
日経エンタテインメント
（音楽･テレビ･映画･ゲームの流行情報マガジン）
ROCKIN’ ON JAPAN　（邦楽雑誌）
INROCK　（洋楽雑誌）
Number（スポーツ全般）
ENGLISH JOURNAL　（英語学習）

新聞

日経新聞
産経新聞
毎日新聞
朝日ウィークリー（英字新聞）

■過去の単発リクエスト例■

Seventeen
JUNON
AIRLINE
MAMOR
鉄道ファン
宝塚 GRAF
明星

リクエストは、図書館ポストに投函か、司書に伝えてくださいね。

中高生を満たす栄養素は？

友だち・先輩・恋・部活・趣味？
あなたの場合は？

本の中の手紙は、誰とつながる？

「サクラ咲く」 辻村 深月/光文社

中１の塚原マチは、自分の意見をはっきり主張できないタイプの優等生。自分のやりたいことに堂々と向かえない葛藤があった。ある日、マチは図書室の本に挟まれた「サクラチル」と書かれたメモを見つけた。誰？なぜ？自分もメモをはさむうちに、まるで自分を知っているかのような返事がくるようになった･･･。中高生らしい心のモヤモヤと淡い恋心がリアルでいい。学校を舞台に中高生のピュアな感情を描いた３編の連作短編集。

部員の数だけドラマがある♪　アニメでも人気

「響け!ユーフォニアム ①　北宇治高校吹奏楽部へようこそ 」 武田 綾乃/宝島社文庫

久美子が入部した吹奏楽部はかつて全国大会レベルの強豪校だったが、最近では関西大会に進むことすら難しい。ところが、顧問が変わり、その厳しい指導で力が付いた。一方で、部員同士の競争や練習の厳しさに弱音をあげる生徒も。目指すコンクールに向けて心を一つに、様々な葛藤を乗り越え舞台に上がる少女たちの胸と成長が爽やかに描かれた人気作！中学で吹部だった人も、これから吹部に入ろうと思っている人にもピッタリ♪（以上　千葉）

数学がこんなに熱いなんて!

「青の数学」「青の数学２」 王城夕紀/新潮文庫

学園物と言えば、汗と涙の運動部系部活物語が定番だと思っていたら違ってた！数学にとりつかれ、時間の全てを捧げ没頭し翻弄されながら、ライバルと出会い競う中でカ強く歩いて行く主人公達。主人公が数学をやり続ける理由は「見たこともない景色を見たくて。」ひたすら難問に挑戦する彼らの熱い息遣いが聞こえてきそうな青春物語だ。10代のこの時期に我を忘れるほど夢中になれるものがあるなんて！うらやましい！ぜひ2巻も続けて読んでみて！

わけもなく腹立たしい時ってあるんだよね･･･。

「帰宅部ボーイズ」 はらだみずき/幻冬舎文庫

苦労して入った野球部になじめず辞めてしまった直樹。運動全般優れているがサッカー部の雰囲気になじめず辞めた喧嘩早いカナブン。物質的に恵まれているが友達のいないいじめられっ子のテツガク。３人が過ごした宝物のような中学三年間。この時期は心と体がアンバランスで、得体の知れない爆弾を常に持ち歩いている感じ。そんな危なっかしい時期に友達と過ごした時間が大人になった時の自分を作っているんだ。
（以上　田中）

RDB…絶滅危惧種のデータ本、では RDG とは？

「RDG レッドデータガール　1　はじめてのお使い」 荻原　規子/角川文庫

世界遺産の中にある神社でひっそりと育てられた主人公、泉水子はおさげとメガネがトレードマークの超引っ込み思案の女の子。下界から閉ざされた生活を送っていたのに、高校からは東京の学校に行くことになって、一体どうなるの？携帯も PC も使えないのに？というのが１巻のストーリー。全体からみるとほんの序章ですが、この巻だけでも充分面白い！一族の秘密や現実離れした世界など、丁寧に造り上げられたファンタジーにぐいぐい引き込まれます！

困難には終わりがある。きっと前向きになれる！

「あと少し、もう少し」 瀬尾　まいこ/新潮文庫

正月の駅伝をテレビで見ていて「ドラマだなぁ」と思ったのですが、小説にもありました。しかも中学生の駅伝！寄せ集めのチームをまとめるのは、名物顧問から代わった頼りない美術教師。ありがちな設定だと思って読み始めたが、章毎の視点がそれぞれの区間を走る生徒に移っていく構成のおかげで、６人の思いが重なって行き、ページをめくる毎に彼らを応援する気持ちが強くなっていった。タスキをつなぐっていいなぁと改めて感動！
（以上　梅谷）

表紙画像は出版社の許可を得て転載しています。